



社会新報 (岡山県連合版)

2016年8月1日
(非核・平和特集)

社会民主党全国連合機関紙宣伝局(毎週水発行)
〒100-8909 東京都千代田区永田町2-4-3
ℓ:03-3592-7515 1部180円月700円〒160

岡山市北区弓之町5-7 Tel.086-226-1234

発行責任者 武本恒夫

http://www.sdp.or.jp/okayama/index.html e-mail: sdp_okayama@helen.ocn.ne.jp

暑中お見舞い申し上げます

党の再生・再建へ向けた声を持ち寄り

幹事長 武本恒夫

先の参院選に、連日の活動、ご支援にお礼申し上げます。結果は改選勢力が3分の2を占め、社民党も1議席に留まる厳しいものでした。一方、得票数・率の増は、アベ政治がすすめる憲法破壊への危機感と、護憲・平和の社民党に寄せられる期待を感じました。次の世代に引き継ぐ私たちの責務です。

この選挙では、かつてない取り組みが大きな特徴でした。立憲主義・民主主義を否定するアベ政治の暴走に、市民・学者・文化人など広範な人々ととりわけ若い人が積極的に行動を起こしました。それは一



原水禁運動の継続は新しい課題への力に

梅雨明けの強い日差しの下、7月18日、被爆71周年原水禁平和行進を行ない、50名が参加した。出発集会で市民会議代表の大石和昭弁護士は、「引き継がれていることに誇りを持てる。いまも福島では多くの人が戦い、被曝している。将来に禍根を残す核に反対しよう」と訴え、岡山市被爆者会会長の平末豊も才バマ大統領の広島訪問を「遅すぎた・国を守るというが、核は世界を危うくする」と批判、

退女教の内田順子さんは「教育現場に政治が介入、モノがいえなくなる。自棄する空気が怖い」と報告。

行進の旗はついでに

行進は岡山市役所隣り大供公園から妹尾まで1.2km、シユプレヒコールで市民に訴えながら元気に歩き、中には高校生の参加もあった。

途中、わざわざ家から出てきて「自衛隊の海外派遣は反対です」と声をかけてくれたり、

27日、広島引継ぎ集会のため笠岡から広島・大門まで平和センター主催で平和行進、元気に引継ぎを行なった。

離れた家の2階から手を振っての激励など、例年の行進にない光景にも出会って元気付けられた今年の行進であった。



被爆71周年前の同じ暑い日、平和行進を続ける仲間たち。右上は27日、岡山から広島へ思いを引き継ぐ(福山)

人区の全32選挙区で野党一本化を実現させ、岡山では、市民(おかやまいっほん)と野党が統一候補で戦いました。この経験を引き継ぎ、安倍政治が本丸とする「憲法改悪」との戦いに活かさなければなりません。

社民党は全国・各県連合・支部で、この間寄せられた声を踏まえ真剣な討論を行っていきます。県連合も28日常任幹事会で再建・再生と山積する諸課題に向け議論を深めます。

党県連合の主な行動

- 6/22 参院選公示
- 6/25~28 選挙カー一県内街宣
25倉敷中心・26岡山県南・27津山・真庭中心・28高梁・新見
- 6/29 福島みずほ すんすん街宣岡山
- 7/1~4 比例区選挙・黒石候補集会 etc.
- 7/4~9 メガホン街宣・いっほんスタンディング
- 7/10 参院選投票
- 7/12 井原支部総括会議
- 7/18 原水禁平和行進
- 7/23 1・2区総括会議
- 7/27 平和選センター・平和行進広島引継ぎ
- 7/28 県連合総括会議
- 8/3 (12:30) アベ政治は許さない スタンディング
- 8/4~5 原水禁・広島大会(10名)

引継ぎの旗

8月6日を前に毎年行われる岡山市被爆死没者供養塔の清掃活動に7月24日、原水禁岡山の仲間3名が参加した。供養塔のある岡山市東山霊園には朝8時半から岡山市被爆者会(平末豊会長)、地元東山中学のボランティア部の約20名が参加、作業の間には高齢の女性から戦争当時の話を聞きながら慣れない刈込バサミを使い「こんなになりませんでした」と、うれしそうに声を上げていた(野

「新報」読者会
8月9日(第2火)18時
弓之町「時事問題懇話会」
8月19日(第3金)18時
※聞きたい・話したい人歓迎
いずれも岡山社会文化会館



い夏を少しでも過ごしやすいと、昔の人は考えた。「饅頭布い」はまた別な話だが、昔も今も庶民には「怪談」話が一番受ける▼子どもが小学低学年のころ、池田動物園山頂にあつた「お化け屋敷」に連れて行った。さすがに怖かつたのか出てきて発した「ああ怖かつた」の一言に、すれ違ひのお姉さんたちが「キヤ」と声をあげた。それでも会場に向う人間の心理が「怖い」▼「怖い」を大辞林で引くと、「危険なことが起こりそうであるが、予想以上に大した力を持っていない」▼先の原水禁平和行進でも「怖い」挨拶があつた。自民党HPに学校の実態調査報告欄で、政治的中立性を逸脱の例として「子どもたちを戦争に送るな」を偏向告発するよう促す動きに対し、「何よりモノが言えなくなる。自棄する空気が怖い」と▼アメリカでは泡沫候補と見られていた「モノ言う」トランプ氏の大統領候補の話は「軽視できない」現実となりそうである。どこへ向うのか怖い話だ(の)

定例学習・読者会

「新報」読者会
8月9日(第2火)18時
弓之町「時事問題懇話会」
8月19日(第3金)18時
※聞きたい・話したい人歓迎
いずれも岡山社会文化会館